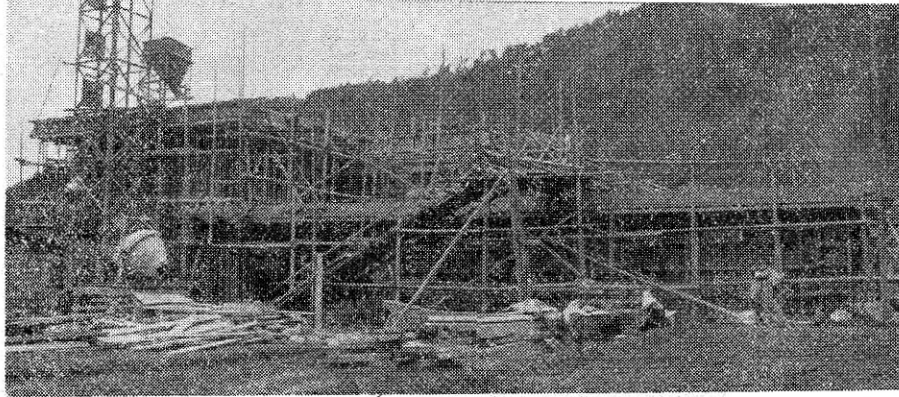


賀正

広報 東白川

発行所 郡民館 加茂川村 印刷所 東白川印今



(新春につち音こだまする病院建設)

新しい年を迎え、村内皆さんと健康で栄えある新春を祝福できますことを心からお慶び申上げますと共に、平素本村自治発展に御協力いただいた居りますことを感謝申し上げます。新しい年と共に過去を反省しよりよき社会を造るため、新しい気持ちで出発したいと存じます。一九六四年国際オリンピック東京大会は世界九十九カ国の選手を迎え、平和と友愛の裡に堂々とその成果を取め、平和愛好の精神によつて躍進する日本の姿を全世界に示したのであります。本年は岐阜国体が開かれる意義深き年、我々はこの機会に県民挙つて、伸び行く県民運動の実践に努めると共に、誇りある岐阜県よさを一層高揚し、国体をして成功させたいことを念願するものであります。



東白川村長 河田勘市

自治法制しかれて十年幾多の変遷を経て日に月に進展して参りました事は誠に御同慶に堪えませんが、健康にして明るい村造りを旗印として十余年、昨年四月結核予防会総裁秩父宮妃殿下より、九月には厚生大臣表彰を受賞、又保健衛生に對する婦人会活動の功績顯著

年頭の詞

個性ある村建設へ

東白川村長 河田勘市
に於て東白川村は、早稲知事より表彰せられ、長い間の本村保健行政の成果が普く認められたのであります。健康を護る施策こそ住民福祉向上の上に又産業経済の振興に、国力の進展につながる最大条件であります。

最近の農業は他産業に比漸次成園化することによつて著しく其の所得格差を生じ、農業の振興は又商工業の振興につながるものであります。然しながら経済の高度成長は徒らに農村をおびやかして農村不況が招かれないように、この秋我々は冗費節減を計つて出来得る限り消費生活を切りつめ貯蓄増強に努めるべきだと思います。どうか産業振興を計ると共に消費経済に深い関心を持ち一層貯蓄励行に努めらるゝ様お願い致します。

よつて産業の振興を推進したいと存じます。本村の保健行政と山林行政は長い歴史を有し村の個性としても永く保持すべきものと信じます。財政行政問題のむずかしさ、郷土に對するあこがれと希望はこゝろの個性を持つ村こそ強いのでなからうか。地方自治も今や大きな転換期に来て居る感がうかがわれます。広域行政の推進によつて地域開発による新しい行政体制が打ち立てられようとしています。然しながら本村の実態は決して恵まれた環境とは云えません。そこで地方自治を發展させる方向として直接住民の身近な行政を主体として村の個性を活かし、新しい感覚意欲を以て、その生き方が直ちに住民の共同体として發展することが地方自治本来の姿だと信じ一層の精進を致したいと存じます。何卒相変らずの御協力の程お願い申し上げます。新春に当り皆様の御多幸をお祈りして年頭の詞と致します。

祝祭日には「日の丸」の旗をかゝげましょう

今井両氏に紺綬褒賞



安江さん 今井さん

さきに多額の私財を公共のために寄付された今井悦次郎さん(五加大派)と安江正文さん(神土村)に対して、紺綬褒賞が授与されました。

村では、去る十一月十八日夜場に両氏の御出席を願ひ、褒賞の伝達を行ないました。

年頭のことば

心の文化へ育成へ努力

東白川村議会議長 田口 稔



村民のみなさま、明けましてお目出とうございます。御一家お揃いで希望に満ちた新年をお迎えになつた事を心からお祝詞申し上げます。

お互いに過ぎ去つた年を振り返り、今年こそはと希望とファイトを持つて力強くスタートしたいものでございます。昭和四十年、それはあの敗戦の悪夢からさめて丁度二十年。長いようで短かかつた二昔でした。

最近では文化の進むテンポからみて、五年が一昔だと言われているが、全くその通りで、此の二十年間における社会の変化は余りにも大きく、世はまさに物質文化全盛時代とも言ふべきでございます。

省りみると、昭和二十一年の夏、敗戦國の捕虜といふ不遇な身柄で、シベリヤ

のコムリモリスの収容所へつなされた。誰が伝えたのか日本は敗けたけれども二十年にして再び世界に君臨するのだという夢のような予言が噂されましたが、明日の運命さえ判らない暗い気持ちの私には信ずることができないまま、氣にもとめ

ませんでした。しかしながら、二十年過ぎ去つた今日、果せるかなこの現実の社会に生き永らえてこゝに記すことのできる我が身の冥加を感謝すると共に誠に驚異であり感慨無量であります。

戦後世界地図は、色々な情勢によつて大きく塗りかえられましたが、今日数多い各国の中で、小さいながらその存在が大きく認められ、將に世界に君臨している

る國は我が日本の國だけと言えましよう。それだけに私も日本國民の優秀さを私直さなければならぬと見直さなければならぬと気がきたと言わなければなりません。

戦後の民主主義の精神が誤つた自由主義、勝手主義となり、無責任な民主主義が横行するに至り大きな社会問題となつてまいりました。

正に物質文化の怒濤に精神文化がふみにじられ影響を被つて、経済の動きはげしい今日にあつて、農村から有能な青少年が都市へ流れ農業生産面から若い労働力が失われ、加えて出生率の低下など、農村人口が減少した。

年頭所感



東白川村教育長 安江又右エ門

村の後継者づくりに思う

平素は、本村の教育振興につきましても、格別のご協力ご支援を賜わり、学校教育はもとより社会教育も日に日に進展し、健康にして明るい村づくりの成果が一段とたかまつておりますことには誠に喜ばしい次第であります。

昔から「困づくりの基は人づくりに在り」と云われ時代の発展は、教育の力によるところ大なるものがあります。しかし乍ら、最近のめざましい科学の発達に伴い、産業構造が大きく変

り、村内皆様方には、一家お揃いで佳き歳をむかえられましたことをご心からお喜び申し上げま

は特にならぬが、農業の将来を否定するからではないところであり、今日の如く、農家の青少年のことが、農業を捨てるとしたら一体どうなるか、いさゝか危惧の念をいだかざるを得ません。

この運動推進こそ精神文化への運動であり、大いなる成果を生む唯一の道と信じて止まないものであります。

また本村河田村政のお題目である健康にして明るい村づくりに直結する大道であります。

皆さす方もお互いに明るい、ゆかしい社会建設の一日も早からんために、格別の御協力を賜わりますことを念願して年頭の祝詞と致します。

もとより、その地域の発展は、産業の開発につながる重大な問題であり、近時農業の近代化のため、あらゆる施策が進められていますが、現在の農村における

う後継者づくりを如何にするべきかと云うことが、重要な課題となつて参りました。義務教育の終了過程における就職進学の問題は、個人の一生を左右する重要な問題であり、その進路指導に

たたかいた年も、窮乏した農業に立ち向つて、生産性の高い近代農業の建設に情熱をそそぐような理想の持ち主がより多くあらわれんことを期待すると共に、教育の場を通じて、これらの

この指導の人材を養成するの将来につながる重要課題であることを強調し、年頭の所感といたします。

明けてしまつておめでとうございませう。昭和四十年の新春にあたり、村内皆様方には、一家お揃いで佳き歳をむかえられましたことをご心からお喜び申し上げま

対等の人間関係の愛情を

子が親に求めるもの...

「親は親ならずとも子は子たらざるべからず」といふ親には絶対服従の教育をうけてきた戦前の親と、「人間尊重」、「人間としての平等」の基本から戦前と異つた教育を受けている戦後の子供とは、その考え方に違いが生じるのは当然である。

そういつた混とんとした中で、親は過去の考えのみに固執し、対等の人間関係の愛情ではなく、上下関係の愛情を求めようとしていたとするならば、そこには大きなミソができてくる。

新しい時代の親子関係は家族制度を支配していた権力的な関係でなく、尊敬と信頼と理解とによる自主的で主体性をもつた親子関係でありたい。

子供たちは自分のおとうさんをどんな眼で眺めてどんな親になつて貰いたいと希つてゐるでしょう。一月月から子供からみた父親観を紹介しましょう。

おとうさん

ぼくの
おとうさん
は、
じい
やん
をよ
んで
もら
つた
りし
ま
す。

ぼくは
おとう
さん
にや
き
ゆう
をし
ても
らつ
たり
、ほ
んは、
じい
やん
をよ
んで
もら
つた
りし
ま
す。

ぼくは
おとう
さん
は、
せ
がと
もた
か
い
で
す。
ぼ
く
がと
も
お
とう
さん
の
よ
うに
お
お
の
う
ん
て
き
く
な
ら
い
たい。

おとう
さん
お
お
わ
き
き
よ
う
こ

おとう
さん
は、
あ
さ
は
や
く
お
き
て、
ま
い
に
ち
し
ご
と
に
い
つ
て
ゆ
う
が
た
お
そ
く
か
え
つ
て
き
ま
す。

おとうさんはうちへかえるといつにもここにきて、きょうはおこりこりうでがつかうへいつてきたかといひます。わたしはおとうさんがだいすきです。

ゆうごはんをたべると、いつもがつこうのことをききますので、わたしはいろいろはなしてやります。ちつともおこらないよいおとうさんです。

わたしのおとうさん

わたしのおとうさんは、たてぐやです。

まい日、やかましいこころばの中できごとをしてみえます。わたしが、がつこうから帰つて「いつてきました。」といつてもきこえません。それでわたしは、よくせなかをボンとたきまますと「おお、おかえり」といひなれる。

うちののおとうちゃんは、おさけが大好きです。

夕ごはんのときなど、おいしそうにのみなると、よくおとうちゃんの小さいときははなしなどしてもらいます。

うちのおとうちゃんほどでもやさしい。

だから、わたしはべんきよのわからないとこころがいて、すぐおしえてくだ

わたしはよくおとうちゃんのかたをたいてあげます。するとおとうちゃんは「かたたくきがとてもじょうずや」といひなれる。

そしておとうちゃんは、夜なんか、よくおとうとたちとプロレスや、すもうをしなれる。いつもまけるのはおとうちゃんです。

ほんとうにおとうちゃんはいいおとうちゃんです。わたしは、うちのことはぜんぶおとうちゃんにそうだしします。

おとうちゃんはどこかえ行きなると、家の中はほんとしずかになつてしまひます。

わたしの父

五年 安江謙次

ぼくの父は、めがねをかけてせがが高い人です。

おうち勉強などで、わからない所があれば教えてくれたり、やり方を説明したりしてくれます。

ひまがあれば車をかまつています。こししようもないのに、車のうしろのカバーをはがしてみたり、とつても車のすきなぼくの父です。それにうちは旅館なので父は夜おそくまでおきていて、お客さんがとまりにおいでると、戸をあけて客室に案内します。

ぼくに「けんちゃんはお歌がうまいで、歌手になれよ」などといひなると、とつてもゆかいな父です。

ぼくはまだ小さかつたころ父はけつかくという病気にかかまりました。それでもなおりました。

その時の、友だちの写真がまだアルバムにあります。

昭和39年村内の大きな動き

昭和三十九年もあわただしく過ぎ去りました。この一年間に村内で起つた大きなニュースを振り省つてみました。

東白川中学校新校舎の落成(2,29) 特別教室(一八〇坪) 普通教室(一三〇坪)が二期に分けて総工費千六百余万円で完成、その落成式が行なわれた。

マンモス予算が成立(4) 一般会計六千万円、特別会計四千万円、総計一億円にのぼる当初予算が可決された。

伸びゆく村民運動が展開される(4,1) 全県的に推進される七ツの運動を即村民運動とし、五〇名の推進員が委嘱され明るい村づくりを目ざして運動を展開した。

東白川保育園落成(3,26) 白川の清流に沿つた高橋のたもとに六百八十余万円をかけモダンな園舎が落成、松野知行をを迎え盛大な落成式が行なわれ、公民館に隣接し生活をしていた園児も四月七日に木の香新しい保育園に移つた。

結核対策優良村として秩父宮妃から表彰(4,24) 全国結核予防大会の席上、結核対策優良村として秩父宮妃総裁から晴れの表彰をうける。

それに父がわかい時、ニューススタイルバンドという所でギターをやつていました。ぼくが「今でもギターひけるか」と言うと、「ひけるかもしれない」と言いながらわらつておいでる。ぼくは、父にギターをひかせたいと思う。

それから、父はぼくにお使いをあまりさせないようにしてほしい。

安江専一組合長逝去(5,2) 農協事業一本に打込み県下屈指の優良農協に育て上げた安江専一氏が急逝、五月六日組合葬が村民悲しみのうちに行なわれた。

東白川病院診療棟の建築はじまる(8,21) 昭和二十六年診療所として発足以来村民の健康センターとして年ごとに充実同三十三年に病院に認可され、近代医学を更に充実するため総工費二、五四〇万円をかけて診療棟の建築に着手。保健衛生優良村として厚生大臣表彰(9,17) 札幌市で開かれた第八回全国公衆衛生大会で本村が「健康管理による明るい村づくり」の保健衛生優良村として全国の中から表彰を受けた六団体の一つとして厚生大臣から表彰をうけた。

県道白川加子母線主要地方道に指定(9,30) 地元選出の代議士を通じ中央への強力要望が叶い九月三十日付で建設省から指定され、待望久しい念願が実現。

取崩一百万を突破(11,13) 村蚕業振興五ヶ年計画の四年目で待望の取崩量一百万を突破。新年は更に大きい飛躍をすべく輸一百万達成記念振興大会が農事センターで開かれた。

新築官行造林の伐採はじまる(9) 二ヶ年計画で新築の官行造林の伐採がはじまる。(売上金の半額が本村収入)

大口組らへ感謝状 岐阜県知事から 国民年金業務実績優良地 区組織として、昨年十一月二十日多治見市氏センターで開催された国民年金大会席上において、次の四部落に対して県知事から感謝状と記念品が贈呈された。 大口組、加舎尾組、曲坂組、下野組

